

### 家族の心の変化 はるな苑庶務課

嶋田 恭子

法人3施設の中で、はるな苑の特徴をいかす研修テーマとして「家族の心の変化」を発表させていただきましたが、介護と医療の立場の違いを痛感した研修発表となってしまうました。もちろん、研修の内容自体に原因があり、もう少し専門職の方にも、伝わるような内容に仕上げれば良かったと反省しています。

また、興味を示していただき、いくつもの質問をしていただきましたが、的確な返答が出来なかったことが悔やまれます。

自分自身の足りない部分、再認識できた事例発表会で、この経験を日々の業務に活かしていきたいと思っています。

### 埼玉療育園における BLS教育の取り組み

#### 埼玉療育園育成課

奈良 圭一

私は、埼玉療育園において取り組んでいるBLS教育について発表させて頂きました。

BLSとは、一次救命措置の略称です。具体的には心肺停止状態の方に、胸骨

圧迫やAEDを使用し蘇生処置を行い、救急隊員や医師への橋渡しを行います。

当園では、まず指導者となるBLSインストラクターを要請し、そこから全職員に教育を行おうと考え、BLS教育に取り組みました。

BLSは、私たち施設で働く職員が、ご利用者を守る為に、是非とも習得したい技術と思います。

### 情緒の安定・生活の質の 改善を目指して

#### 山鳩よりい生活支援課

杉本 正子

7月14日に行われた法人研修にて、新規利用者の「情緒の安定・生活の質の改善を目指して」をテーマに発表しました。

4月の職員への研究テーマアンケートで、新規入所者に関する「自閉症対応」の要望が多く、取り組むことにしました。限られた時間の中で、作業や意識統一など難しい課題もありました。係や職員の協力の下、途

中経過ではありませんが、無事発表を終え、安堵しています。

課題への取り組みは続きますが、ご利用者の生活の向上を目指し、職員一丸となって研究を進めていきたいと思えます。

### ご利用者の笑顔の為に トイレ介助の工夫

#### はるな苑生活支援課

松野 有沙

今回の発表では、トイレ介助の工夫について行いました。

それまで行っていた定時介助をやめ、ご利用者の希望介助に改めたことで、その日の体調に合わせた介助が出来る様になりました。

また、希望時にトイレに行けることに安心されたのか、トイレに行ったことを忘れ、トイレの訴えが続くことが減りました。

小さな気づきと改善で、ご利用者と職員の笑顔が増えたことが、今回の改善で一番の成果として感じられたことです。

今後、ご利用者の笑顔のために、良い介護提供を目指していきたいです。

## 絵はがき頒布活動

当法人は、日本肢体不自由児協会と共催で「手足の不自由な子どもを育てる運動」の主要な活動である「愛の絵はがき等の頒布活動」を行っております。

第65回手足の不自由な子どもを育てる運動にご協力

第64回の頒布活動では、友情の絵はがき553組、愛の絵はがき675組、クリアファイル1413枚、3Dクリアファイル1776枚のご協力ありがとうございました。

ください！

### 愛の絵はがき®



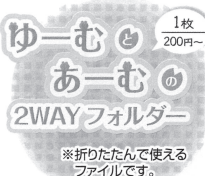
コロッセ「遊園地」  
子どもたちがこの絵を見て喜んで、楽しんでいたりするイメージを様々な色で表現しました。笑顔でみんなと一緒にいらしたいなどの思いをこめて...



### 友情の絵はがき®



### 友情の絵はがき®



※折りたんで使えるファイルです。



上里町立上町中学校  
フライングディスク、ディスクキャリー  
バッグ、アキュラシーゴールセット